

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2023年6月10日
明治大学の所属学部・研究科	国際日本(学部/ 学科/ 研究科/ 専攻等)
留学(渡航)した時の学年	3年生
帰国年月日	2023年6月24日
明治大学卒業予定年月	2024年9月
留学先大学について	
留学先国	イギリス
留学先大学	イーストアングリア大学(日本語名) University of East Anglia(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語/ 英語
留学期間	2022年9月～2023年6月
留学先大学で在籍した学年	3年生
留学先の所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名(日本語):言語コミュニケーション学部 (現地言語での名称): Politics, Philosophy, Language and Communication Studies <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 記入例:1学期/4月上旬～7月下旬、 2学期/9月中旬～2月上旬	1学期:9月下旬～1月下旬 2学期:1月末～6月下旬 3学期: ~ 4学期: ~
学生数	3
創立年	1963年

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (£ポンド)	日本円	備考
授業料		0 円	交換型留学のため
宿舍費		1170000 円	私の寮の Nelson Court は週£172.76
食費		500000 円	自炊が面倒な時期があり、酒や菓子など嗜好品もよく購入していたため月 5 万程
図書費		0 円	教科書を購入する必要は無かった
学用品費		0 円	
携帯・インターネット費	£100	円	SIM は LEBARA の月額£10・15GB にしたが、基本大学の wifi なので月 3-5GB 程度で足りる
現地交通費	£120	円	city center(モールや飲食店が集まる場所)まではバスで往復£5(☑大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		0 円	
被服費		40000 円	自分は服が好きのため色々購入したが、必要性が高いのはユニクロのヒートテック/極暖
医療費		0 円	大きな病気にはかかっておらず、下記の保険にも入っていたため診察料、処方箋は無料。
保険費		90000 円	形態: 明治指定海外旅行保険 1 万、VISA 取得に伴う国営医療サービス利用代 HIS 8 万
渡航旅費		270000 円	
ビザ申請費		60000 円	
雑費	£460	円	ベッド用品£70、食器、調理器具£50、衛生用品・スキンケア用品£150、洗濯・乾燥週£6→計£240
その他		400000 円	旅行費(国外三か国、国内 5 箇所)
その他		50000 円	スーツケース、その他留学に必要な物
合計	£168000	2700000 円	私はあまり節約をしていませんでしたが、生活の仕方ですごく安くできます。

渡航関連

渡航経路	
往路 出発地:羽田空港 目的地:ヒースロー空港 経由地:ドバイ	
復路 出発地:ヒースロー空港 目的地:羽田空港 経由地:直行	
渡航費用	
① 往復チケットを購入した場合 航空会社: 料金:	
② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社:エミレーツ 料金:12万 復路 航空会社:ANA 料金:15万 ∴合計:27万	
航空券購入方法	
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:)	
<input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名:Emirates, Trip.com)	
<input type="checkbox"/> その他()	
滞在形態関連	
1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)	
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前:)	<input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ
2)部屋の形態	
<input checked="" type="checkbox"/> 個室	<input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数)
3)共有部分	
<input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)	
4)住居を探した方法:	
大学のホームページ	
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
フラットメイトがパーティーやクラブ好きな人達だと、夜中もキッチンや廊下でお酒を飲みながら音楽をかける毎日が続く可能性がある。空きがあれば追加料金なしで寮を変更することもできる。壁が薄いため生活音はよく聞こえる。villageという寮は他のキャンパスと異なりキャンパスから徒歩 10 分程離れた場所にあるため注意。	

現地情報

1)留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例: 現地の病院、学内の診療所)

- なし
 あり (治療を受けた場所: 登録した GP(かかりつけ医)であるキャンパス内の UEA medical center)

2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

- なし
 あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？ その際どのように対処しましたか？

特にリッジで大きな事件などは聞かなかったため、特別対策をしたことは無いが、外が暗くなってからの一人での外出は控えた。ロンドンやその他旅行先では盗難に気を付けた。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

大学の電気関係の工事の影響で、12 月頃から寮内での WIFI の接続が悪い(大学から一斉メールにて連絡を受けた)。WIFI の接続が悪い場合は図書館に行くことと解決することがある。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか？ (例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

現金を使っている人はめったに見たことがない。日本の銀行と紐づけたクレジットカードを二枚持参した。銀行口座の登録は必須では無いし、登録は面倒。ただし、毎度円からポンドに替えることになるので、為替手数料が低いクレカを選ぶべき。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

ダイソーなどに売っている便利グッズ、必要なら文房具(文房具はイギリスでは高価)。大学の洗濯機はかなりハイパワーなので洗濯ネット。

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
単位	<input checked="" type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input checked="" type="checkbox"/> 履修の制限があった: 三つの科目のうち、二つは所属学部でなければならぬ。英語の能力によって履修できない学部やレベル(授業の難易度)がある。大学のホームページにて確認できる。	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
INTRODUCTION TO TRANSLATION STUDIES	
科目設置学部・研究科	Politics, Philosophy, Language and Communication Studies
履修期間	秋学期
単位数	UEA における 20 単位
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	セミナー(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 110 分が 1 回
担当教授	Philip Wilson
授業内容	翻訳学という学問を通して翻訳の方法論などについて学ぶ。
試験・課題など	毎授業の課題:リーディング(但し授業ではあまり触れない)、中間:英訳された何らかの形態のテキストを分析したプレゼンテーション(7 分)、期末:翻訳学に関する三つの質問のうち一つに答えるエッセイ(1500word)
感想を自由記入	成績の付け方は期末課題 100% 翻訳の仕方やその過程において発生する問題についての「へえ!」と思える面白い発見を学べた。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
LANGUAGE AND SOCIETY	
科目設置学部・研究科	Politics, Philosophy, Language and Communication Studies
履修期間	秋学期
単位数	UEA における 20 単位
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	セミナー(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 110 分が 1 回
担当教授	Maria Tsimpiri
授業内容	言語と社会(文化、政治、ジェンダーなど)の関係、お互いがどのように影響を及ぼしあっているかを学ぶ。
試験・課題など	毎授業の課題:無、中間:期末課題に向けて言語と文化に関する三つの具体例を用意しポスターを作る、期末:三つの具体例を元に授業で扱ったトピック一つについて考察するエッセイ(2000word)、毎課題の読書課題(pdf10 枚程)から四つ選んで 500word で要約と意見
感想を自由記入	成績の付け方は、期末課題のエッセイ 50%、要約 50% 英語という言語について社会言語学の観点から学びつつ、身近にあるような状況で私達が使っている言語に関する気付きを得られた。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
UNDERSTANDING SECOND LANGUAGE TEACHING (Level 5)	
科目設置学部・研究科	Politics, Philosophy, Language and Communication Studies
履修期間	秋学期
単位数	UEA における 20 単位
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	セミナー(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 110 分が 1 回
担当教授	Maria Gomez Bedoya
授業内容	第二言語を教える方法を中心に、学習者から見た第二言語の難しさなどについて学ぶ。
試験・課題など	毎授業の課題:無、中間:期末レポートの簡単な枠組、期末:実際に第二言語を教えるプレゼンテーション(12 分)、第二言語を教える授業の計画書(制限はないが、おおよそ 5000-10000word)
感想を自由記入	成績の付け方は、期末課題のプレゼンテーション 50%、計画書 50% 卓上の話ではなく実際に自分が第二言語を生徒に教える先生であると仮定して、授業設計から生徒の動機付け、指導方法などについて広く学ぶことができた。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
ADVANCED ENGLISH II			
科目設置学部・研究科	Politics, Philosophy, Language and Communication Studies		
履修期間	春学期		
単位数	UEA における 20 単位		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	トレーニング(言語学習、ディスカッションやペアワークあり)(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 110 分が 1 回		
担当教授	Renee Gray		
授業内容	英語を学ぶ授業。アカデミックなトピックのニュースや記事を元に文法、単語、批判的考察の方法について学ぶ。		
試験・課題など	毎回の課題:リーディング又はリスニング(短め)、中間:ニュースを考察するプレゼン(3-5 分)、期末:自由なトピックの長所・短所を述べるエッセイ(2000word)、ペアでポッドキャスト作成(10 分)		
感想を自由記入	成績の付け方は、期末課題のエッセイ 50%、ポッドキャスト 50% 日本人や韓国人が多かった。ペア/グループワークやディスカッション、ミニゲームなどが豊富に行われ、言語学習の授業でも飽きずに授業を楽しめた。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
ENGLISH ACADEMIC WRITING SKILLS (Level 4)			
科目設置学部・研究科	Politics, Philosophy, Language and Communication Studies		
履修期間	春学期		
単位数	UEA における 20 単位		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	セミナー(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 110 分が 1 回		
担当教授	Renee Gray		
授業内容	アカデミックなエッセイ、レポートの書き方を学ぶ。		
試験・課題など	毎授業の課題:短いエッセイ(300-500word、読書課題有の場合もある)、中間:、期末:自由なトピックについてのアカデミックエッセイ(2000word)		
感想を自由記入	成績の付け方は、期末のエッセイ 50%、毎授業の課題のエッセイ 50%(但し毎授業で確認されないため期末までに終了させればよい) 参考文献の見つけ方や正しい記載方法、様々なタイプのエッセイとその書き方、エッセイの各パートなど広く深く英語のアカデミックエッセイについて学べた。英語力がある程度無いとついていくのは難しい。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
INTRODUCTION TO WORLD LANGUAGES AND CULTURES	
科目設置学部・研究科	Politics, Philosophy, Language and Communication Studies
履修期間	春学期
単位数	UEA における 20 単位
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	セミナー(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 110 分が 1 回
担当教授	Hazel Marsh
授業内容	言語と文化がどうお互いに影響しあっているかを学ぶ
試験・課題など	毎授業の課題:読書課題(pdf3-10 枚程)、中間:期末のエッセイのおおまかな枠組み、期末:言語と文化の繋がりを示すケーススタディ三つを用いたエッセイ(1500word)、読書課題二つについての要約と意見(各 500word)
感想を自由記入	成績の付け方は、期末のエッセイ 50%、要約 50% 英語だけでなく様々な言語を扱い、各分野に詳しい外部講師による授業が半分程あり、文化交流やジェンダー、政治などの面での言語について批判的な視点を得ることができた。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

2)進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関など

3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)
※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

教育系

4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)
※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

私の周りの三年生の日本人の留学生は夜中のオンライン面接など就活を留学中に行っていました。大変ではありますが留学中に就活をするのは不可能ではありません。

5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	
留学開始年	1月～3月	
	4月～7月	4月/出願、履修科目選択、5月/寮を選択、6月/CASが届く、7月/VISA申請、春決定
	8月～9月	9月/履修科目決定・変更、9/14 現地到着、Welcome Week、9/26 秋学期授業開始
	10月～12月	12月/期末課題、12/16 秋学期授業終了
留学/帰国年	1月～3月	1月/期末課題、1/30 春学期授業開始
	4月～7月	4月/春休み、5/19 春学期授業終了、6月/期末課題、帰国
	8月～9月	
	10月～12月	

留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイスなど、自由に記入してください。

イーストアングリア大学を選んだ理由は、自分の興味のある学問分野の学部・授業があり、施設が充実したキャンパスと留学生へのサポートが強い点に惹かれたからです。実際、緑に囲まれたキャンパスの中にはカフェや日本の大学の食堂のようなもの(平日 18-20 時は 66%オフで£3 以下で食事ができる)、自習スペースが豊富な大きな図書館、バー、大学主催のクラブなどが、キャンパスの近くにはスポーツ施設(有料のジム、プールあり)、二つの大きな自然公園、コンビニ(高め)、30 分程歩くとスーパーがあります。また、留学生や International Student のために、学期始めには International Week や Welcome Week で様々な国の学生と交流できます。その他にも、UEA は学部団体を中心に年中何らかのイベントを開催しており、学生と交流する機会が沢山設けられています。日本でいうサークルも、スポーツ系と文化系で何十種類とあります。

留学生活について、授業は学部にもよりますが、しっかり授業を受け課題をためずにこなしていれば、授業自体は一学期に付き三つだけなので、多くの授業を受けながらバイトもする日本の学生生活と比較すると、そこまで多忙ではないと思います。International Development の学生や練習のハードなスポーツクラブに入っている学生は忙しそうな印象がありました。教員によりますが、私の受けた授業では、授業のスライドや授業中に配布される資料などが全て授業前にクラスウェブに掲載されており、予習・復習を容易に行うことができ、英語に自信が無い自分でも授業についていく助けになりました。また多くの授業では授業内に生徒同士で意見を交換する時間があり、日本の授業との違いを感じました。UEA ではいくつかの授業で出席が成績に関係ないため、学期末に近づくにつれてクラスの生徒数が減っていき、モチベーションを保つのが大変です。授業期間が終わると期末試験期間が始まりますが、対面試験がなく期末課題だけであれば、課題が終わり次第休み期間となります。授業課題は、日本の大学のように授業の感想や意見を言うようなものはあまりなく、リーディングや期末のアカデミックなエッセイ、プレゼンテーションなどが主です。冬休みや春休みに始まり、祝日やストライキによる授業中止など、意外と自由時間が沢山あり、国内外に旅行に出かけたり、UEA のイベントに参加して有意義な時間を過ごすことができました。特に日本からヨーロッパは遠いため、イギリスにいる間にヨーロッパに沢山行っておこうと日本人留学生は沢山旅行に行っていました。ロンドンや日帰りでもいける丁度良い旅行先として人気でした。

アドバイスとしては、まずは留学準備は早めに進めることです。準備過程で明治や UEA にメールで質問をする機会が沢山ありますが、すぐに返信が返ってくるわけではなく、VISA や CAS などの発行物も一か月待ちといったこともありますので、できることから進めていくことをお勧めします。次に、留学生活については、留学中にしかできないこととにかく沢山挑戦することです。個人的な感想ですが、日本では何かと人の目を気にしていましたが、イギリスという異国の地では自由にやりたい事をやれるように感じ、多くの新しいことに挑戦し思い出を作ることができました。留学を通して、自分の中の何かを変えたり成長させて帰国できればと思います。